

京都ボランティア協会2019年度事業計画

目次:

前文	…1ページ
<事業>	
1 【ボランティアコーディネート事業】	…2ページ
2 【援助・交流事業】	…2ページ
3 【広報事業】	…3ページ
4 【研修事業】	…4ページ
5 【研究事業】	…4ページ
6 【地域福祉推進事業】	…5ページ
7 【評価・調査事業を通じ社会福祉を推進する事業】	…5ページ
8 【企業・労働組合の社会貢献活動の推進】	…6ページ
<組織・運営>	
1 【組織・運営体制整備】	…6ページ

< 事業 >

【1. ボランティアコーディネート事業】

事業項目	事業目的	事業内容
ボランティアコーディネートの実施 在宅でのボランティア活動 グループ活動(協会内外) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">通年・継続</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の啓発と推進。 ・地域で困難を抱える人たちとのボランティア活動を通じた交流、ひいては社会貢献。 ・ボランティア登録者継続と増加の推進。特に在宅生活者の依頼に応える、寄り添うボランティアの増加。 ・相談業務等から見える生活・福祉ニーズの把握と分析。 ・地域資源の把握(新たなボランティア活動先、受入先の開拓など)。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ボランティア相談(ボランティア活動希望者およびボランティア依頼者からの相談)を行う。 ②ボランティア学習会・研修会等を実施する。 ③ボランティア登録者の増員と交流を図る。 ④ボランティアコーディネート事業体制を整備する。 ⑤福祉ボランティアセンターとの連携を図る。 ⑥「きょうボラ」を発行(年4～5回)する。 ⑦大学・地域等への事業紹介等広報活動を実施する。

【2. 交流・援助事業】

事業項目	事業目的	事業内容
「第11回きょうボラふれあい祭」開催予定	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなボランティアスタッフの人材発掘と育成。 ・ボランティア、関係団体、企業等との交流、連携推進。 ・新たな活動の創造・発信。 ・ボランティア中心に、祭準備段階から企画・運営を参加団体と実行委員会・事務局が連携強化。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ボランティアスタッフ等の募集と学習会を行う。(随時募集) ②実行委員会(企画・運営)を設置する。

<p>通年・継続</p>	<p>「きょうボラ祭(仮)」企画内容 変更、運営、作業ボランティア募集！！</p>	<p>③祭のホームページを管理する。 ④バザー物品、抽選物品を確保する。 ⑤広報の充実(パンフレット・ちらし他)を図る。 ⑥福祉ボランティアフェスタ 1参加団体として参加する。 ⑦祭記録・報告書を作成する。</p>
<p>サロン活動(ボランティアビューロー活性化) 「ねこのてさろん」の運営</p>	<p>・多様な興味や関心を持つ人たちとの交流を通じた「居場所」や仲間づくり。 ・多様なメニュー企画立案作りによる人材及び団体交流。 ・お互い様精神の復活。</p> <p>「ねこのてさろん」企画・運営ボランティア募</p>	<p>①単発活動企画の年間計画化を図る。 ②居場所機能の活性化(メンバー募集、仲間作り等)を図る。 ③活動のグループ化、自主運営化を図る。 ④新規グループ作りを図る。</p>
<p>この事業は今年で5年目になる ①京都市マーケット回収事業 ②高齢者と社会的に不安を抱く若者をつくる居場所づくり(セルフヘルプセンターの一環事業)</p>	<p>①・手軽に出来るボランティア、だれでも出来るエコ・リサイクル活動である京都市マーケット回収事業の継続。 ・地域住民への社会貢献活動の啓発や就労支援の活動(障がい者とともに)として研究課題(京都市の助成金交付対象)。 ②ボランティアビューローのサロン事業の活動(認知症やひきこもりなどの予防等)。</p>	<p>①京都市マーケット回収(ゴミ減量推進活動) 京都市では、「ごみ量をピーク時の半以下まで減らす」という目標を掲げている。 古紙・古着等は、地域の集団回収(コミュニティ回収)を奨励している。減量・リサイクル(ウエス作業、バザーなど)の推進が特に重要な課題となっている。 ②地域の高齢者や障害者が手軽に来れるサロン(例:趣味・お話相手等)で認知症やひきこもりなどの予防を図る。</p>

【3. 広報事業】

事業項目	事業目的	事業内容
<p>「ボランタス」他広報事業</p>	<p>・「ボランタス」「きょうボラ」他媒体による情報提供と発信。 ・ホームページにて情報の公表を行うことによる、広く市民への広報活動。</p>	<p>「ボランタス」を発行(年4~5回)する。 「きょうボラ」を発行(年4~5回)する。 ホームページを管理する。 講座等のちらしの作成</p>

【4. 研修事業】

事業項目	事業目的	事業内容
高齢者・障がい者・児童分野 講座実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域で求められるボランティア像を知り、実践や体験活動を取り入れ、人材発掘の機会を増加。 ・各領域の課題を学び、ボランティアグループ、NPO団体等との連携の推進。 ・「心の栄養支援養成講座」連続シリーズ+障害編。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ボランティア活動にあたっての知識・技術を身につける講座・研修を開催する。 ②各領域の現場で当面している課題を現場から学ぶ。 ③ボランティア研鑽とボランティア同士の交流、特に福祉領域のボランティア活動者の敷居を低くし、互いに支えあう活動を増やす。 ④地域生活で求められているボランティアを知る機会をつくる。 ⑤在宅生活を豊かにすることを手伝えるボランティアを知り、実践や体験活動を取り入れた内容の講座づくりをする。
ワタキューグループ新入社員 研修(5/9～6/1)2班 117人 福祉施設ボランティア体験 講座の企画・講師派遣7回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア精神を学び、座学や体験活動を通じての「人間力」育成。 ・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の意義を知り、実際に体験活動を通じて現場の職員や当事者と交流する機会を持つ。 ・社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会を提供(ボランティア活動紹介や、講師派遣等)する。 ・ボランティア活動や講座の情報提供を発信する。
その他必要な講座の実施及び 講師紹介・派遣の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会が目的とする市民福祉増進の一環として、各領域で求められる研修等の講師の紹介・派遣。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域等への研修等の講師紹介・派遣を行う。

【5. 研究事業】

事業項目	事業目的	事業内容
ボランティア活動に関する調査研究	京都市内におけるボランティア活動状況の実態把握および「京都ボランティア白書（仮）」の発行	「京都ボランティア白書（仮）」の発行にむけた調査・編集委員会を立ち上げ、ボランティア活動支援を行う諸団体等と発行にむけた検討会を行う。

【6. 地域福祉推進事業】

事業項目	事業目的	事業内容
災害支援活動	人的支援・物的支援等の後方支援。	①募金活動を行う。 ②イベント開催時に募金箱を設置する。

【7. 評価・調査事業を通じ社会福祉を推進する事業】

事業項目	事業目的	事業内容
地域密着型外部評価事業の充実	・質の高い評価。	①地域密着型外部評価事業を行う。 ②評価員の研修体制の充実を図る。 ③主任を養成する。
介護サービス第三者評価事業の充実	・質の高い評価。	①介護サービス第三者評価事業を行う。 ②評価員の研修体制の充実を図る。 ③主任を養成する。
福祉サービス第三者評価事業の充実	・質の高い評価。	①福祉サービス第三者評価事業を行う。 ②評価員の研修体制の充実を図る。 ③主任を養成する。

評価・調査事業の管理・運営体制の整備	・効率的な事務運営	①評価・調査機関としての事務体制を整備する。
--------------------	-----------	------------------------

【8. 企業・労働組合の社会貢献活動の推進】

事業項目	事業目的	事業内容
企業・労働組合との協働と交流	・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。	①協会事業(祭等)への参加および企画等への参画を図る。 ②社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会を提供(ボランティア活動紹介や、講師派遣等)する。 ③ボランティア活動や講座の情報を提供する。

<組織・運営>

【1. 組織・運営体制整備】

事業項目	事業目的	事業内容
組織基盤の強化	・会員拡大、確保に取組み組織基盤の強化。(賛助会員の拡大)	①会員拡大委員会の設置を検討する。 ②イベント等参加団体・者への会員案内・勧誘を行う。 ③各新聞社・関係団体の広報媒体を活用する。 ④理事、会員との交流の機会を設ける。
運営体制の整備	・ボランティアと協調しつつ、迅速効率的な事務執行体制を築き、運営体制の整備。	①一般社団法人としての公益事業の活性化を図る。 ②事務局体制の整備(人員の補強)を図る。事務局ボランティアスタッフの拡充を図る。 ③理事、ボランティアスタッフ、事務局員との連携強化を図る。 ④ボランティアスタッフ研修会を開催する。 ⑤評価・調査機関としての管理・運営体制を整備する。 (再掲)
ボランティアビューロー・3階のボランティアセンターの一部の管理・運営	・有効な管理運営及び友好的で開放的な場の構築。	①利用状況を把握・管理する。 ②ボランティアビューロー活性化事業を促進する。 ③広報物を掲示・整理する。
財源の確保	・財源確保による安定的事業運営。	①助成金を確保する。 ②ボランティア団体賠償保険の加入勧誘を行う。 ③会員拡大を図る。